

釧路市教育委員会 令和2年第29回12月定例会会議録

- 1 日時：令和2年12月16日（水）13時30分から15時05分まで
- 2 会場：釧路市教育委員会室
- 3 出席者
岡部義孝教育長
（教育委員）
山口隆委員、松尾千穂委員、種村俊仁委員、小出美貴子委員
（事務局）
大坪学校教育部長、津田生涯学習部長、大山教育指導参事、
江縁学校教育部次長、高嶋学校教育部次長、工藤生涯学習部次長、
及川総務課長、久保給食担当主幹、富田総括指導主事、
森教育調整主幹、澤口生涯学習課長、佐藤博物館長、
中村動物園長、牧野阿寒生涯学習課長
- 4 議事録署名人 山口委員、松尾委員
- 5 傍聴人数 0人
- 6 提出案件

【公開案件】

議案第70号 釧路市立小学校、中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
報告事項

- (1) 令和2年第6回釧路市議会12月定例会の議決結果について
- (2) 令和2年第6回釧路市議会12月定例会の審議内容について
- (3) 2021くしろ20歳のつどいの延期について
- (4) キタサンショウウオ生息適地マップについて
- (5) 第49回釧路湿原マラソン大会の日程変更について
- (6) 学校の現状について
- (7) GIGAスクール構想実現に向けての校内研修の実施内容について

【公開案件】 報告事項

議案第70号 釧路市立小学校、中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

(江縁学校教育部次長)

同規則において、城山小学校及び幣舞中学校への通学区域として設定されている、緑ヶ岡3丁目1番において、この度、宅地造成により新たな住居番号が設定されたことから、新設された住居番号を規則の別表に加える改正を行うものである。

場所としては、湖陵高校横の釧路シティホールの裏側の宅地で、これまで緑ヶ岡3丁目1番55号まで、であったところが、今回の住居番号新設により69号までに変更となった。

◎特に意見は、なし。

【公開案件】 報告事項

(1) 令和2年第6回釧路市議会12月定例会の議決結果について

(2) 令和2年第6回釧路市議会12月定例会の審議内容について

(及川総務課長)

先月の定例教育委員会においてご承認いただいた2件の補正予算案、及びGIGAスクールの端末取得に係る「財産取得の件」、並びに釧路アイスアリーナ照明設備及び電光表示システムに係る「製造請負契約の締結に関する件」の議案については、すべて原案どおり可決された。

また、釧路市報告第29号の物損事故損害賠償額の決定等に関する「専決処分報告の件」について、報告が完了していることをご報告する。

報告事項(2)の12月定例会審議内容については、引き続き、学校教育部長、生涯学習部長からご説明いただく。

(大坪学校教育部長)

学校教育部に関わる一般質問の概略を説明する。

新創クラブ 大越拓也議員より、国は就学援助の費目に「オンライン学習通信費」を追加しているが、どのように考えているか、生徒会費の拡充についても見解を示してほしいとのご質問があり、教育長から通信環境のない家庭にあっても、社会教育施設や児童館・児童センターへのWi-Fi整備を今年度内に順次進める中で、学校内の高速通信網の整備と併せて、すべての子供がオンライン学習に対応出来る環境を整えることとしており、費用の中に学習用途以外の家庭での通信費も混在することから「オンライン学習通信費」への補助に関しては考えていない、生徒会費についても、就学援助については教育活動に対する支援という前提のもとで検討されるべきものであり、今後の予算編成の中でさらに検討をしてみたいとお答えした。

公明党議員団 松原慶子議員より、いくつかの質問のうち、子育て支援の中で生活に困窮

している家庭に対し塾や習い事についての学校外教育に関する支援を行うことはできないかと質問があり、私から、学校に関する支援については就学援助制度があるが、学校教育外に関する支援は行っていないので、関係部署と協議を行ってまいりたいとお答えした。

自民市政クラブ 山口光信議員より、新型コロナウイルスに感染した児童・生徒・学生の心のケアについて、どのような対応・対策を取っているのかとい質問があり、私より、各学校では、個人情報に留意しながら正しい情報を保護者等にメールや文書により伝達し、家庭での協力をお願いしており、保護者等を通じて定期的に電話連絡を行い、感染者の体調確認とともに、登校再開に向けての不安を払しょくするよう努めている、併せてスクールカウンセラー等による面談を受けられるよう、体制を整えている旨お答えした。

日本共産党議員団 工藤正志議員及び自民市政クラブ 三木均議員より、SDGs（持続可能な開発目標）について、目標達成していくための教育、今後のどのように推進していくのか示してほしいとの質問があり、私から、各学校で使用されている教科書において、SDGsに関する内容が反映されておりESDの理念に沿った学びを深める機会が持たれていることと、各学校における活動において推進、充実していきたいとお答えした。

日本共産党議員団 村上和繁議員より、学校給食センターの改築に関し、現学校給食センターの場所から阿寒湖温泉地区まで、給食を配送するのは適切ではないこと、津波の影響があるが予定地がなぜ適地なのか、複数の学校給食センターを整備すべきと考えるが見解を示してほしいとの質問があり、私から、阿寒湖温泉地区までの給食配送時間については、阿寒ICと釧路西IC間が開通後、道東自動車道を利用することで、学校給食衛生管理基準に定められている「90分」以内の概ね「80分」を想定しており、配送が可能であると考えており、新しい学校給食センターの建設地については、インフラ整備の状況、周辺環境、津波災害の影響、取得コスト、土地面積、さらには各学校への配送時間などを総合的に検討して決定したもの、津波災害の影響については一定程度想定される地域ではあるものの、他の候補地と比べ、その影響度は低いものと考えていること、拠点集約化によるランニングコストの低減、食材等の一括管理による衛生管理の徹底などの観点から、市内全域をカバーする1センター方式が、最も効率的に目的を達成できると判断した旨をお答えした。

公明党議員団 月田光明議員より、公立夜間中学の取り組みについてご質問があり、教育長より、地域における学び直しのニーズを把握するためのアンケート調査を行い、生活福祉事務所や「くらしごと」で就労支援を受けられている方々を中心に回答いただいていることころであるが、いわゆる「潜在的なニーズ」を持つ方々については、アンケート調査だけでは実態を把握することは容易ではないと実感しており、学び直しを必要とするより多くの方々からご意見を伺えるよう、SNSの活用など、その手法についても検討しながら、更に調査を継続してまいりたいとお答えした。道教委主催の協議会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年3月から中断されていたが、今後、道教委が協議会の場で道内における夜間中学の設置のあり方に関する具体的な協議を進めていくと聞いており、また札幌市における状況も情報収集しながら連携を深めてまいりたいとお答えした。

日本共産党議員団 梅津則行議員よりGIGAスクール構想について、個別最適化に懸念

があり、ドリル型操作に陥る危険があると考えるが、今後のICT教育を今後どのように考えるのかという質問があり、私から、これまでの教育実践の蓄積を生かしつつ、現状の課題を克服していくための1つのツールとして、ICT機器を効果的に活用していくことが大切であると捉えており、1人1台端末の整備により、学校教育すべてがICT機器に取って代わられるものではないと考えているとお答えした。

(津田生涯学習部長)

生涯学習部に関わる一般質問の概略を説明する。

公明党議員団 河合初恵議員より、こども遊学館の観覧料が高く感じるとの話を聞き、外の広場にキッチンカー等呼び、飲食が楽しめる空間を作ることで、入場料を半分にしても賑わい創出によって入場料収入と同程度の収益を得ることができればと考えた、これまで遊学館エリアでキッチンカーの出店やフリーマーケットなどを開催したいという問い合わせがあったのかとのご質問があり、私より、こども遊学館への問い合わせはこれまでほとんどなかったものの、平成25年と26年の2回、こども遊学館が主催するイベントにおいて、キッチンカーが出店したことがあること、こども遊学館の事業等に支障がないなど、事前に調整を行ったうえで、許可することは可能となっている旨、お答えした。次に、社会教育施設等の周辺等の飲食店などと連携した、サービス事業の実施の可能性について見解を示してほしいとのご質問があり、私より、事業者の協力や財源の確保等が必要であることなどから、実施については課題も多いものと認識していることから、今後の子育て支援や中心市街地の賑わいの創出などの様々な施策を考える中において、関係各課と相談したい旨、お答えした。

市民連合議員団 宮田団議員より、コロナ禍の状況において、今年度の生涯学習施設におけるサークルなどの活動状況、事業の実施状況についてご質問があり、私より、感染防止対策を徹底した中において可能な範囲でサークル活動や事業を実施しており、生涯学習センターの9月の利用人数では、昨年78%程度となっている旨、お答えした。次に、一問一答で、生涯学習センターはWi-Fi環境が整備されたが、オンライン講座の実施状況はどのようになっているのかとのご質問があり、私より、初めてのスマホの使い方やZOOM会議をするための講座など、実施に向けて検討を進めているところである旨、お答えした。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

山口光信議員の答弁に関連して、新型コロナウイルス感染した方への差別、誹謗中傷については各学校において適切に対応してくれていると思うが、治療の最前線に立つ医療従事者に対しても差別などが全くないかという疑問である。誰もが感染する可能性があること、医療現場で頑張っている方々はヒーローだという市民全体の意識の醸成のため、エールを送るような働きかけがあってもいいのではないかと思う。

(岡部教育長)

初期の段階であったが、釧路あすなろクラブという異業種交流を行う民間の団体が幣舞中

学校の敷地に市立釧路総合病院の医療従事者を励ます評語看板を設置したいという申請があり、これを許可した。関係各課が地道に進めながら、気運を醸成していくことが大事であろうと思う。

(山口委員)

看板により市立釧路総合病院の方にはメッセージが送られたが、市民全体が広く認識し、盛り上げていくように広報も工夫してほしい。

(種村委員)

月田光明議員からの公立夜間中学についての質問に関し、どのような状況にあり、どのような効果があるのか。

(大坪学校教育部長)

公立夜間中学では、夕方から4時間授業となり、職員は道教委からとなる。どこの学校を使うかということ、また、実際にどのくらいの方が必要としているかというニーズの把握が難しい。自主夜間中学では年齢の高い方が利用されているが、毎日の通学ができるのか、交通の便などもある中でニーズ調査を行うとともに、札幌市が設置に向け準備しているので状況を情報収集している。

(種村委員)

何らかの理由で中学校の勉強ができなかった方には基礎力や物の考え方について学び直しができ、いい取り組みだと思う。ただ、色々な生徒が集まるので教える方は大変かと思う。授業は教科書を使うのか。

(大坪学校教育部長)

教科書を使う。おっしゃるように高齢の方や障がいを持つ方、外国人の方など対象となる方によってサポートも異なるため、そのような経費も考える必要がある。

【公開案件】 報告事項

(3) 2021くしろ20歳のつどいの延期について

(澤口生涯学習課長)

2021くしろ20歳のつどいについては、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、令和3年1月10日(日)に開催する予定で準備を進めてきた。しかし、国の新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、Go Toトラベルが12月28日から1月11日まで全国一斉に一時停止するとの方針が示されたことから、関係機関とも協議を重ね、人の動きを伴うことを避けられない20歳のつどいの開催を延期する方針としたところである。延期後の日程等については、現在調整を進めているが、国の方針などの同行を注視し、決定次第市のホームページやフェイスブック等で速やかに周知してまいりたい。成人式の参加を楽しみにされていた皆さまやそのご家族をはじめ、様々な準備を進めている皆さま方にはご迷惑をかけることとなりますが、国の方針等を踏まえたものであり、中止ではなく延期することにより、一生に一度の成人式を実施できるようさらに準備を進めていきたいと考え

ている。教育委員の皆さまへのご報告の上、正式決定としたい。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

やむを得ないと思う。この機会が書き入れ時であった事業者の方の理解と参加対象者への周知徹底をしっかりとお願いしたい。

(松尾委員)

私も延期に賛成である。政府の対応が遅かったという批判もあり、保護者も今は帰省しないほうがいいと考えている方々も多いと思う。今年は仕方ないと思うので、延期であっても開催できるよう努力してもらいたい。

【公開案件】 報告事項

(4) キタサンショウウオ生息適地マップについて

(澤口生涯学習課長)

釧路市指定天然記念物「キタサンショウウオ」の保護のため、太陽光パネルの設置や開発行為等により生息地が消失する可能性を未然に防ぐことを目的として、博物館学芸員や専門家による研究成果を元に、キタサンショウウオ生息適地マップを作成した。

釧路市文化財保護条例では、市指定文化財の現状を変更しようとするとき、または所有者等その他関係者がその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならないと規定している。

このため、開発行為等を行う際の目安として、関係する庁内各課や開発行為等を行う事業者へ作成したマップを配布するほか、市のホームページでの掲載などにより広く周知することで、市の財産であるキタサンショウウオ保全の啓発に努めていきたいと考えている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

自分が住んでいる場所が生息可能性のある地域にあるが、どのようにしたらいいのか。

(澤口生涯学習課長)

実際に生息しているかどうかは調査をしてみなくてはわからないが、生息適地であるという専門家の調査結果である。

工事や開発行為をする時はあらかじめ調査し、生息地を安全に保てるような工事方法などのアドバイスをするために作成した。

(小出委員)

これによる拘束力はあるのか。

(澤口生涯学習課長)

これによって禁止される訳ではなく、生息している可能性があるため工事等の際は相談してもらふことと、生息している場合は保護してくださいというものである。今まではこのようなお知らせがなく、知らないうちに埋められていた。ここ数年太陽光パネルの開発が進み、どう守っていくか問題となっていた。かといって生息地をピンポイントで周知すると乱獲が懸念されるため、生息適地として注意を促すという目的である。

(岡部教育長)

どのような形で周知するかが重要である。ホームページに掲載しても、工事の事業者が見るか疑問である。

(澤口生涯学習課長)

昨年から市役所の関係課で庁内ネットワーク会議を設立し、事業者が工事や太陽光パネル土地を購入する事業者が各課に届出をする際に注意を促し、関係する事業者には目に付くよう工夫をしている。

【公開案件】報告事項

(5) 第49回釧路湿原マラソン大会の日程変更について

(工藤生涯学習部次長)

湿原マラソンについては、実行委員会の会則において、開催日を7月最終日曜日としていることから、今年行われる第49回大会は本来であれば令和3年7月25日(日)の開催となる。

本年延期になった、東京オリンピック・パラリンピック大会のマラソン及び競歩競技が来年も引き続き札幌市で開催されることを受け、令和2年12月10日(木)に開催した実行委員会において協議したところ、日程をオリンピック・パラリンピックの終了後で、大規模運動公園内で実施される他の大会や大会運営を担う釧路地方陸上競技協会の意見を踏まえ、令和3年9月19日(日)に変更することとなった。

今後とも釧路湿原マラソンが市民はもとより、全国各地から多くの方々に参加いただける魅力あるスポーツイベントとして発展するよう、大会の充実に努めていく。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(松尾委員)

オリンピック・パラリンピックの開催動向によっては日程を当初予定に戻すこともあるのか。

(工藤生涯学習部次長)

年明け早々にマラソン雑誌等で日程を発信する都合により、オリンピック・パラリンピックの開催がどのようになっても変更した日程での開催予定である。

【公開案件】 報告事項

(6) 学校の現状について

(大山教育指導参事)

「釧路市標準学力検査」が無事に終わり、事前の協議に時間を割いていただいた教頭先生、そして学力検査に実施にご協力いただいた教職員の皆さんにお礼をお伝えいただくようお願いした。

1点目にGIGAスクール構想の進捗状況について、総務課に確認してインターネット環境、タブレット端末、そして大型モニターが整備される時期をお知らせした。

2点目はタブレット端末の研修について、機材が揃わないまま進めているが、校長先生方から事前に先生方に説明があったようで、先生方には積極的に参加していただいた。

3点目は、授業改善とタブレット端末の活用について、タブレットの導入に当たり、端末の使い方を限定するような言い方をしないでほしいとお願した。

例えば、「授業の最初で使えば良い」「朝学習で使えば良い」などと限定的な言い方をすると、校長先生自らが授業で使わなくても良いと言っているのと同じであり、注意してほしいと伝えている。

また、学校訪問での感想として、講義型の授業だとタブレット端末の活用が難しいとお話している。授業の中に児童生徒の活動や話し合い、いわゆる「主体的、対話的な学び」がないと授業ではタブレット端末、特にロイロノートは使えないと伝えている。

各学校には、授業改善とタブレット端末の整備がセットで指導するようお願いした。

4点目は、教務担当者研修会でお話したことが2つあり、一つ目は、特別支援学級の指導要録の件で、個別の指導計画のこと、二つ目は、中学校の総合的な学習の時間についてである。

中学校の総合的な学習の年間指導計画については、本来、総合的な学習の時間では学習してはいけない「合唱祭の練習」などが含まれているなど、改善が必要な学校が多くある。来年度の学校訪問で確認するので、それまでに改善を図るようお願いした。

5点目は、教育推進基本計画について、来年度は全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の数値は、4月の数値で成果にはならないため活用しないこと、「成果指標項目」の目標値は、各学校の達成目標になるため自校の「授業評価」「児童生徒アンケート」に項目として活用すること、そのようにすることで、各学校が目標値を達成すると市全体で達成することになること、また、学力と同様に経年変化で指導の成果を確認するため小学校3年生から中学校3年生まで達成状況の確認が必要だとお話した。

各学校には、達成目標一覧を配布しました。各学校で「授業評価」や「児童生徒アンケート」への位置付けについて検討するようお願いした。

また、後日、ここにある目標設定時より数値が悪くなっている項目については、昨年度の分をメールで送り確認をお願いしている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

教育推進基本計画について各学校においても目標値の達成が必要ということは非常に重要なことだと思う。教育委員会だけの計画でなく、各学校現場でも達成できるよう努力し実現できるようにお願いしたい。

G I G Aスクールの研修について、先日大楽毛小学校で見学してきたので他の委員の方の感想もお願いしたい。

(小出委員)

渡部先生の授業がとてもわかりやすかった。他の先生達もタブレット端末の使い方を初めて知ったという感じであった。授業で活用していくには熟知が必要で、どのように取り入れるか先生によって差が出るのではないかと感じた。

(松尾委員)

私も先生方によって差ができるように感じた。それが児童生徒に影響しないよう研修が大切であると思う。子どもの方が慣れるのが速いと思うし、楽しさを感じて先生方もどんどん新しいことにチャレンジしてもらいたい。

(山口委員)

研修の中身がすばらしかった。今後学校に機器が導入された後も、第2弾、第3弾の研修が必要だと思う。どのような場面で活用するのか、どのようにしたらより効果的なのか情報を集め、各学校に伝えてほしい。

(富田総括指導主事)

機器を使ってさまざまな使い方が考えられる。市教委としてもより効果的な使い方等を発信していくが、今回は自分ごととして自身の教科、学年においてどのように使えるか考えていただくということが 第一のポイントであった。今後、研修を通じて3年または4年かけて定着していけるよう頑張っていきたい。

(大山教育指導参事)

先生方に差があるのではないかという懸念について、全国の実践によると子ども達がプロジェクトチームを作り、使い方を教え合ったり、トラブルも子ども達で解決できることもあるそうである。先生に頼るのではなく、子ども達自身が授業での活用を提案できるようになればいいと考えている。

(岡部教育長)

子ども達はどの先生に習うか選べない。ICTが進むことで習う先生によって子ども達の意欲が変わることがより顕著になってくる。先生方には頑張ってもらいたい。

(山口委員)

G I G Aスクール構想については、そもそも新型コロナウイルスの影響でインターネットを利用して授業を行うことができる学校が地域によって差があったこともあり、国のスケジュー

ールが前倒しになったことと思う。今後また登校できないことになった場合、家にいても授業を受けられるように整備してあげなくてはならない。最終的には家や地域の児童館等の施設、学校の教室で遠隔授業を受けられるインターネット環境を整備することまで視野に入れてシュミレーションしているのか。

(富田総括指導主事)

市の公共施設含め、整備させていただいており、子ども達に周知していく。また、スマホの使い方のアンケートを取りまとめているところであり、家庭での Wi-Fi 状況を把握した上で進めていく。

(種村委員)

昨日、英語の速読の授業にプロジェクターを使用して行ったところだが、生徒は真剣に聞いており、回数を重ねるごとに答えの精度も上がっていく。ICTの授業は普通の授業と織り交ぜて行くと効果があるなど実感した。

(富田総括指導主事)

今後はハイブリッド型になっていくと思う。子ども達同士の話し合いも重要だと思うので、従来の指導にICTの授業をどう組み込んでいくかが課題である。

【公開案件】報告事項

(7) G I G Aスクール構想実現に向けての校内研修の実施内容について

(富田総括指導主事)

大楽毛小学校でご覧になっている部分も多いかと思うが、G I G Aスクール構想実現に向けて一体となって進めていくにあたり、令和3年度から学校に導入される内容について体験していただく。

(渡部指導主事、吉岡指導主事の実機説明)

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(岡部教育長)

ロイロノートはオフラインでできることは何もないのか。

(渡部指導主事)

現時点ではないが、一カ月ごとに機能が追加されているので今後オフラインでも使えるようになる可能性も考えられる。

(岡部教育長)

宿題を家庭でやって、翌日学校でオンラインで採点するイメージであった。